

MSゴシック

やらまいか@gri forest ニュース 335号
(2023年9月1日配信)

【目次】

■--お知らせ--■□■□■

- 1 農作業中の熱中症を予防しましょう
- 2 「#しずおかむらたび2023instagramフォトコンテスト」について
- 3 静岡県農林技術研究所「研究所ニュースNo. 82」

■--お出かけ情報--■□■□■

- ・ふじのくに茶の都ミュージアムの企画展について

■--西部農林活動リポート--■□■□■

- ・西部農林活動リポート（7・8月）

■--お知らせ--■□■□■

- 1 農作業中の熱中症を予防しましょう

本年、5月1日～9月30日は「熱中症対策強化期間」です。
夏に向けて、農作業中に熱中症になる人が増えてきます。
熱中症は正しい知識を身につけることで、適切に予防することが可能です。

●熱中症のリスクについて

- ・毎年、農作業中の熱中症により約30人が死亡しています。
- ・農作業中の熱中症による死亡者を月別に見ると、7～8月の発生が多い一方、他の月でも発生しています。
- ・熱中症の危険性が極めて高くなると予測される地域に発令される「熱中症警戒アラート」の情報が、テレビ等の天気予報、環境省や気象庁のウェブサイト、農林水産省が提供するMAFFアプリ等で入手できます。

●予防のポイント

- ・暑さを避ける（できる限り高温時の作業は避け、作業を行う場合は日陰や風通しのよい場所で行う）
- ・こまめな休憩と水分補給
- ・単独作業は避ける（やむを得ず単独作業を行う場合も時間を決めて携帯電話等で定期的に家族や知人と連絡を取り合う）
- ・熱中症対策アイテムの活用（つばの大きい帽子のほか、吸湿速乾性の衣服や装具、空調服やミストファンなど）

・そのほか、日々の体調管理など熱中症に負けない体づくりをしておきましょう

●熱中症が疑われる場合には

- (1) 作業を中断(代表的な症状は、手足のしびれ・めまい・吐き気・頭痛、汗をかかない、まっすぐ歩けないなど)
- (2) 応急処置(涼しい場所に避難し、衣服を緩めるとともに、首筋や脇の下・足の付け根を冷やす応急処置を行う)
- (3) 病院へ(応急処置で症状が改善しない場合、躊躇することなく医療機関での診察を受ける)

●熱中症対策パンフレット

https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/attach/pdf/nechu-25.pdf

2 「#しずおかむらたび2023instagramフォトコンテスト」について

農村とそこで暮らす人々の魅力を伝える写真を通じて農業と農村の魅力や価値を共有することを目的に、静岡県内の農山村地域で撮影された作品を募集します！

農地保全課では、令和4年度まで「静岡県農村の魅力フォトコンテスト」「#しずおかむらたびinstagramフォトコンテスト」の2つのフォトコンテストを実施していましたが、今年度はこれらを統合し「#しずおかむらたび2023instagramフォトコンテスト」を開催いたします。

皆様が見つけた農山村地域の美しい一瞬を写真に納めてご応募ください。

●開催期間

- ・#しずおかむらたび春2023 5月1日(月)～6月30日(金)・・・終了
- ・#しずおかむらたび夏2023 7月1日(土)～9月30日(土)
- ・#しずおかむらたび秋2023 10月1日(日)～12月15日(金)
- ・#しずおかむらたび冬2023 12月16日(土)～2月29日(木)

※年4回開催

●応募方法

- (1) しずおか農山村サポーター「むらサポ」のinstagramアカウント(@murasapo)をフォロー
- (2) 「#しずおかむらたび〇2023」(〇に季節ごと春/夏/秋/冬を記載)「撮影地(市町名、地区名)」「撮影時期(〇月上旬等)」「タイトル」の4点を記載して投稿 ※撮影地について、「ふじのくに美しく品格のある邑」名が分かる方はこちらも併せてご記入ください。

●表彰について

各回15点の入賞作品を選定致します。

また、写真家の沼田早苗氏を審査委員長にお招きし、年間を通して1点の特選選定、準特選として静岡県土地改良事業団体連合会長賞/ふじのくに美しく品格のある邑連合会長賞を各1点選定致します。

<特選及び準特選の選定対象作品>

- ・「#しずおかむらたび夏2023」入賞作品15点
- ・「#しずおかむらたび秋2023」入賞作品15点
- ※「#しずおかむらたび冬2023」入賞作品については、令和6年度の選定対象になる予定です。

●副賞について

各入賞者様には副賞を贈呈致します。

- ・特選 ふじのくに美しく品格のある邑の農産物 1万円分
- ・準特選 ふじのくに美しく品格のある邑の農産物 5千円分
- ・入選 ふじのくに美しく品格のある邑の農産物 3千円分

なお、特選及び準特選は令和6年3月頃、入選作品は各回終了後に副賞を発送致します。

●入賞作品の発表

- ・デジタルサイネージの放映

デジタルサイネージ（スライドショー形式の動画）を静岡県庁及びイオンモール浜松市野店にて放映します。

- ・季刊誌「むらのおと」への掲載

ふじのくに美しく品格のある邑連合が年4回発行する季刊誌「むらのおと」に入賞作品ページとして特集が組まれます。

むらのおとは、県内の図書館やふじのくに美しく品格のある邑内の道の駅等で配布しています。

●お問い合わせ先等の詳細は以下のページを御参照ください

<https://www.pref.shizuoka.jp/sangyoshigoto/nouchi/hinkaku/1040450/1054013.html>

3 静岡県農林技術研究所「研究所ニュースNo. 82」

<視点>

「これまでの100年 これからの100年 所長 岩崎 敏之」

<研究情報>

- ・大麦由来発酵濃縮液肥を利用したウンシュウミカンの早期成園化
(果樹研究センター 果樹環境適応技術科 科長 江本勇治)

- ・紫外線照射によるワサビのうどんこ病防除
(伊豆農業研究センター わさび生産技術科 上席研究員 片井祐介)

- ・詳細は以下のページを御参照ください

<https://www.agri-exp.pref.shizuoka.jp/news00077.html>

■--お出かけ情報--■□■□■

- ・ふじのくに茶の都ミュージアムの企画展について

「ふじのくに茶の都ミュージアム」（島田市）は、お茶の産業・歴史・文化を紹介する展示のほか、茶摘み・手もみ体験や、五感で感じる講座を充実させ、子どもから大人まで楽しくお茶について学べる機会を提供します。

さらに、国内外の茶業関係者やお茶愛好者を対象に研修会等を開催し、情報集積・発信を行っています。

今回は、当ミュージアムで現在開催されている企画展「世界の茶器と喫茶文化～日中韓をはじめとして中東・イギリスまで～」を紹介します。

●企画展の内容

お茶は中国南西部が原産地とみられ、やがて長江に沿って江南地方に拡がり、7、8世紀ごろ中国北部へも飲茶の習慣が伝わりました。

当時、中国は唐文明の最盛期で、その文明の力により、茶の文化は、その周辺の朝鮮半島や日本などへ伝わりました。

やがて15、16世紀には日本で茶の湯文化が誕生し、大航海時代が訪れると、ヨーロッパの船員や宣教師の書物により、東洋の喫茶習慣や日本の茶の湯文化が紹介されました。

17世紀初頭にはオランダ船により日本のお茶が商品として初めてヨーロッパへ運ばれました。

中国から世界中へ拡がったお茶は、陸路と海路で各地へ伝わり、気候風土や文化によって変化し、各地域の独自の喫茶習慣へと発展していきました。

本展では「東アジア文化都市※」関連企画として、日中韓をはじめ、アジアから中東、アフリカ、イギリスまでの喫茶文化を茶器と写真とともに紹介します。

※日中韓で毎年原則1都市を選定し、文化交流、文化芸術イベント等を実施する国家イベント

●開催場所

ふじのくに茶の都ミュージアム（島田市金谷富士見町3053番地の2） 博物館2階企画展示室

●開催期間

令和5年12月4日（月）まで

●開館時間 9：00～17：00（入場は16：30まで）

●観覧料

<常設展・企画展共通>

・大人（15歳以上）300円

・学生 無料

※学生・70歳以上、障害者手帳をお持ちの方は、身分証明書のご提示で無料になります。

●企画展の詳細は以下のページを御参照ください

<https://tea-museum.jp/event/20230729.html>

■--西部農林活動リポート--■□■□■

西部農林活動リポート（7・8月）

県西部農林事務所ではさまざまな業務・活動を行っています。
その一部を御紹介します。

- ・令和5年度新規就農者経営発展セミナー第2回講座を開催しました
- ・【美農里】浜松市で「ふじのくに美農里プロジェクト」情報連絡会を開催しました
- ・西部稲作経営研究会研修会でICT水田水管理システム（開水路タイプ）を紹介しました

●詳細

<https://www.pref.shizuoka.jp/sangyoshigoto/norinjimusho/seibunorin/1034299.html>

●お問合せ

県西部農林事務所 企画経営課

TEL : 053-458-7208

≡≡

※今後、配信を希望しない場合は、下記E-mailアドレスへお知らせください。
※メールアドレスの変更等の場合も、下記へお知らせください。
※配信を希望する方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください。
※当メールマガジンは、等幅フォントでご覧ください。

◆このメールマガジンへのお問い合わせは、
西部農林事務所（企画経営課）まで。
電話 : 053-458-7208
FAX : 053-458-7168
E-mail : seinou_kikaku@pref.shizuoka.lg.jp
URL : <https://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/sa-770/index.html>

≡≡